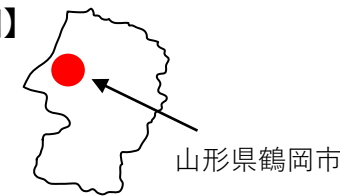


山形県鶴岡市における市立農業経営者育成学校（SEADS）を核とした新規就農者育成の取組

- 庄内平野での水稻と園芸品目（枝豆やメロン、柿など）が大きな割合を占める穀倉地帯
- 農業従事者の高齢化と減少が進んでおり新規就農者の育成・確保が急務であるため、令和2年に社会人向けの農業研修施設「鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS；シーズ）」を開校
- 令和4年度から、サポート体制構築事業を活用し、SEADS内に就農支援アドバイザーを配置することで、研修生を中心とした市内就農希望者の相談対応など就農に向けた支援を実施

【位置図】



山形県鶴岡市

取組前

- SEADS研修生等の新規就農希望者の多様な情報を市職員が把握し、農地や農作物、指導農家とのマッチング等を円滑に進めることが難しい状況
- 研修生の増加と、それに伴う修了生の増加も見込まれることから、専任の就農支援アドバイザーが必要とされていた

取組内容

- R4～5年度は、就農支援アドバイザーを配置し、研修生等の農地、住居、資金、生活などの就農に向けた幅広い相談に対応した
- R6年度は、上記に加え、SEADS内に「新規就農よろず相談所」を開設し、研修生に限らず地域内の新規就農者のワンストップ営農相談窓口として機能強化を図った



取組後(成果)

- 鶴岡市の新規就農者数は、R1～R3の3か年の平均39人から、R4～R6の3か年は平均47人と増加傾向
- 就農支援アドバイザーを中心とした就農相談、農地・住居の斡旋等により、SEADS研修生は1期生から4期生までの27名が各々の形態で地域に就農

	1期	2期	3期	4期
入校者数	13	9	9	7
修了生数	5	9	6	7
独立自営就農	3	2	6	6
雇用就農	2	5	0	0
親元就農	0	2	0	1

【サポート体制】

- 鶴岡市と地域内の2つのJA、4つの教育機関、民間企業で「農業の人材育成・確保に関する協定」を締結し、各主体が各々の強みを活かしながら役割を果たしている

【協定参加者】

- 構成団体：鶴岡市、JA、教育機関（高校・大学等）、民間企業 計8団体
- 主な役割：研修全般の企画・運営
座学研修の実施
農地・機械等の取得支援
施設の運営管理 等

【オブザーバー】

- 構成団体：市農業委員会、山形県、やまがた農業支援センター、新規就農者研修受入協議会
- 主な役割：農地の斡旋
就農後の定着支援
（現地巡回・助言指導）

新規就農者や研修生の声

- 農業への新規参入は横の繋がりが少なく孤独になりがちですが、SEADSに入校することで同じスタートラインに立つ仲間がいるため、心強かった
また、修了後も気軽に悩みを相談することができ、とても助かっている

サポート体制構築事業 活用年度：令和4～6年度

【問合せ先】 鶴岡市農林水産部農政課

TEL：0235-25-2111

E-mail：nosei@city.tsuruoka.yamagata.jp

HP：https://tsuruoka-seads.com/